

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	一般小売店〔野菜〕（店長）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、これまで我慢していた分、購買意欲は上がる。ただし、今の物価の上昇がどこまで消費者の動きに影響を与えるのかは分からない。良くなるとは予想されるが、まだまだ先行きは不透明である。
	◎	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波のピークアウト後、3回目のワクチン接種の動きとともに、経済活動も活発化する。
	◎	高級レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの感染第6波による影響を受けるが、感染対策や消費者心理の変化により、影響の度合いは徐々に小さくなると予想される。
	○	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・2月初旬には新型コロナウイルスの新規感染者数がピークを迎え、その後減少するとの見方を信じている。2月後半から3月にかけての景気の回復に期待している。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波が収束するという、希望的観測が大きい。
	○	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況に左右される。3～4月にかけてコロナ禍が収束に向かうという条件付で、やや良くなることが予想される。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトすれば、コロナ禍の収束も早いと期待されるため、一気に春物商戦が活気付く可能性がある。
	○	百貨店（マネージャー）	・爆発的な感染拡大がみられる新型コロナウイルスオミクロン株であるが、ピークアウトすれば感染は落ち着くと予想している。また、3度目のワクチン接種で安心感も広がり、再び人流が戻ってくると考えている。急激な売上回復は困難でも、春の新生活需要などを中心に、徐々に消費意欲が戻ってくるという見通しを持っている。
	○	百貨店（マネージャー）	・今後もコロナ禍の状況次第であるが、2～3か月後にはピークを超えていると予想される。
	○	スーパー（店員）	・新型コロナウイルスの影響による、極端な来客数の減少はみられない。今よりも感染が少しでも落ち着けば、外出意欲が高まって買物の動きも増える。
	○	コンビニ（経営者）	・企業の在宅勤務は一定数で定着しているが、濃厚接触者に対する制限は今よりも緩和される見通しであり、来客数は若干回復することが期待される。
	○	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば、人出が増えて来客数も増加する。ただし、ワクチンの接種状況や、新たな新型コロナウイルス変異株の発生などに左右される。
	○	衣料品専門店（販売担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況が落ち着いてくる。
	○	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・新型コロナウイルスが普通の風邪と認識され、日常の生活が戻れば、購入意欲も高まると予想される。
	○	高級レストラン（スタッフ）	・また繰り返すことが予想されるが、春までには一旦落ち着く。
	○	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、街に活気が戻り、来客数も増えるが、宴会は再開しない。
	○	一般レストラン（店員）	・3回目のワクチン接種が増えて、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少すれば、来客数が増加する。
	○	観光型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの発生から2年になるため、そろそろ感染の収束がみえてくる。
	○	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着き、良くなっていくと期待している。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・年初からの新型コロナウイルスの感染拡大により、各部署でキャンセルが相次ぐ結果となった。2月以降も株主総会以外はキャンセルとなり、会食や宴会も少人数での予約以外はキャンセルとなっている。ワクチン・検査パッケージの登録は行っているものの、ホテルとしても客に利用を勧められる状況ではなく、しばらくは厳しい状況が続く。
○	都市型ホテル（管理担当）	・まん延防止等重点措置の適用などで、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、春には来客数が増える予想している。	
○	都市型ホテル（販売促進担当）	・全ては新型コロナウイルスの感染状況によるが、今回の感染第6波が去っても、今までと同様に大きく改善するとは思えない。府の施策やGo Toキャンペーンなどで後押しする必要があるが、先行きは不透明である。	

○	都市型ホテル（総務担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まってくるほか、3回目のワクチン接種が進むことを想定すれば、消費行動が再び増えてくる。
○	都市型ホテル（フロント）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染がピークアウトするのは早いといわれており、春休みのレジャー需要に期待している。
○	旅行代理店（支店長）	・新型コロナウイルスの経口薬の普及で、感染症の指定を2類から5類に変更するなど、2～3か月先にはそろそろ新型コロナウイルスとの共生を、口だけではなく実行するタイミングが訪れるはずである。
○	旅行代理店（役員）	・期待も含めて、Go To Travelキャンペーンの再開があれば、需要の拡大が見込める。今は商品や価格の問題ではなく、旅行に行っても後ろ指をさされない雰囲気が醸成されなければ難しい。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株は感染しても重症化しにくいいため、感染の拡大期がそれほど長くないと感じている人も多い。ワクチン接種の効果もあり、今後は徐々に元に戻ると感じている。
○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの感染が落ち着けば良くなる。
○	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを期待している。
○	ゴルフ場（支配人）	・新型コロナウイルスによる影響は多少あるが、直近は雪などの季節要因で休業する日が増え、景気は悪化している。今後、営業日数が増えれば良くなる。
○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・新型コロナウイルスの感染第6波の収束により、客足が戻ることを予想している。
○	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暖かい時期の方が来客数は増える。
□	一般小売店〔時計〕（経営者）	・テレビ番組などで、専門家が新型コロナウイルスについて論じているが、全く意見が一致しないことが多い。2月に感染がピークアウトするとの意見もあるが、にわかには信じ難い。そういった状況が続くなか、必要な物以外の買物に出掛けたり、街を歩き回することは考えられない。気持ちの切替えが進む時期は、まだまだ先である。
□	一般小売店〔花〕（経営者）	・コロナ禍の状況がどうなるか分からないため、先が見通せない。
□	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・まん延防止等重点措置が解除されても、客の購買は鈍い動きが続く。
□	一般小売店〔呉服〕（店員）	・ある程度の年齢の客が多いため、新型コロナウイルスの感染がこれだけ拡大すると、いつか自分も感染すると考える客が多く、先行きの生活に不安を感じている。
□	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスの感染状況次第の部分もあるが、所得が増えていない状況で、消費が大きく改善するとは考えにくい。近年、百貨店はインバウンド需要に支えられていたが、元どおりの売上は見込めず、回復には時間が掛かる。さらに、少子高齢化で百貨店の主要客の購買が減少するなど、売上が回復する要素は乏しい。
□	百貨店（マネージャー）	・全体的に、国内の消費や流通は緩やかな回復傾向にある。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染対策の方向性や、原材料価格や物価の上昇による購買意欲の減退については気掛かりであり、一進一退の状態となることが予想される。
□	百貨店（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数は、2月初めにはピークアウトするとの予測もある。それが当たれば人流も再び増えるが、まだ予測にすぎず、楽観視できない。
□	百貨店（サービス担当）	・今月27日から、まん延防止等重点措置が適用されたが、外出自粛などに対する規制は弱い。新型コロナウイルスの感染予防対策を再度強化することで、状況に大きな変化はないと予想される。
□	百貨店（販売推進担当）	・コロナ禍が始まってから3年目を迎えたが、新型コロナウイルス発生前とは消費動向が大きく変わっている。まだまだ積極的な販促活動も行えず、新型コロナウイルスの感染第6波が収束しても、思うようには回復しないと感じている。

<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・この2年間は、状況が良くなりかけると悪くなるという繰り返りで、正直なところ、先行きは全く分からない。新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大している状況から考えると、しばらくは我慢の時期が続くと予想される。特に百貨店の商品については、はっきりと良い方向に向かうのかどうか分からない。救いがあるとなれば、新型コロナウイルスオミクロン株の重症化率が低い点である。
<input type="checkbox"/>	百貨店（宣伝担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の亜種などの報道で、消費者の不安が高まれば、主要客である中高年層の人出が回復しにくくなる。また、これまで堅調であった富裕層の購買も、株価の低下による影響を受けており、先行きの見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	・当面は、新型コロナウイルスの感染が落ち着き気配がなく、ワクチンが行き渡るまでは今の状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染に係る濃厚接触者については、隔離期間の緩和が順次行われている。ただし、出勤できない人が急増することで、緩和が追い付かない可能性も懸念され、今後の見通しが立たない。一方で客のスーパーでの買物も、新型コロナウイルスの新規感染者数に応じた、活発になったり落ち着いたりすると、これまでと状況は大きく変わらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、当施設でも来客数が再び減少している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・日用品の値上がりで、特売品の買い回り傾向が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・新学期や花見などの行楽シーズンを控え、新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着きをみせれば、消費者の行動も活発化し、景気回復の実感も出てくる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・春には食品の値上げも予定されている。賃金が上がらず、値上げが進む状況では、景気が良くなる可能性はほとんどない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（社員）	・衣料品や住居関連品、食料品は、専門店との競争に直面しており、前年よりも売上は減少が続いている。その一方、当社の主力商品である食品は、コロナ禍の再拡大もあって堅調である。当面はこの傾向が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束した後、新たな変異株が発生しないことを願っている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大に対して、一人一人が行動を自粛すれば、今の経済状態を維持することができ、今以上に悪くならないことを期待している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・コロナ禍が完全に落ち着いても、夜10時以降は客がなかなか戻らないほか、コロナ禍の収束までにどの程度かかるのか想像できない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・外出の自粛ムードが徐々に緩和され、客足が伸びることを期待している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、先行きは不安定な状態が続く。様々な商品の値上げも増えており、購買意欲は上向かない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・コロナ禍の状況次第である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	・来客数が少なく、スーツなどのオーダーも少ない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（経営者）	・取引先からは、半導体不足の解消が見込めないと聞いている。先行きには、しばらく変化はないと予想している。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・決算セールはあるものの、新型コロナウイルスの感染再拡大で来客数が伸び悩む。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・半導体不足により、給湯器やコンロ、トイレ、洗浄便座などの品薄状態が続いている。売上に影響が出ており、先行きが見通せない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・ガソリン価格の高騰が止まらず、中古車価格の上昇も止まらない。売りにくく、買いにくい日々がまだ続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・新型コロナウイルスの感染は、波が一旦収まっても、また第7波がくる。新型コロナウイルスと経済活動の共存について、政府がきちんと方針を示さなければ、回復する希望が持てない。

□	その他専門店 [宝石] (経営者)	・3か月もたてば、新型コロナウイルスの感染は落ち着いてくると予想されるが、物価がまだ上昇傾向にあるため、心配である。
□	その他専門店 [医薬品] (管理担当)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な増加により、来客数の増加は難しいが、食品や雑貨、嗜好品などの売上は増加し、客単価も上昇傾向にある。今後も同じような傾向が続くと予想される。
□	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	・新型コロナウイルスの感染第6波が到来し、毎度のような外出自粛の雰囲気となっているが、人流がそこまで減っているとは感じない。ただし、客の購買意欲が上がる要因は見当たらない。
□	その他小売 [インター ネット通販] (オペレー ター)	・しばらくマスクは必需品になることから、受注の増加が見込まれる。
□	その他小売 [インター ネット通販] (企画担 当)	・新型コロナウイルスの感染状況次第となるが、日常の生活を取り戻すまでには、まだしばらく時間が掛かる。今後も一進一退の状況が続く。
□	一般レストラン (経営 者)	・どれだけ慎重に感染対策を行っても、新型コロナウイルスに感染している状況から、アクリル板やマスク会食では余り意味がないと感じる。もう少し治療薬の普及やワクチンの接種が進まなければ、外食の安心感は戻らない。以前のことが普通にできるようになるまでには、まだまだ時間が掛かる。
□	観光型ホテル (経営者)	・当地域では1月27日から2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用となるが、まだ新型コロナウイルスの新規感染者数が増え続けており、延長となる可能性も高い。
□	観光型ホテル (客室担 当)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束すれば、回復に向かう。
□	旅行代理店 (店長)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減すれば、若干は回復すると予想されるが、楽観はできない。
□	競艇場 (職員)	・全国的な売上は、若干ではあるが上向き傾向が続いている。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、先行きが見通せない状況である。
□	その他レジャー施設 [複 合商業施設] (職員)	・新型コロナウイルスの感染第6波がピークアウトすれば、少し落ち着くと予想されるが、新たな変異株の発生といった懸念もある。一時は持ち直した企業業績も、生産現場の混乱で再び落ち込むリスクがある。
□	その他レジャー施設 [球 場] (経理担当)	・新型コロナウイルスの感染第6波で新規感染者数は過去最多を更新しており、2月のコンサートや3月から開幕するプロ野球の公式戦で、入場規制が掛かるかどうかは予断を許さない。ただし、3か月後の状況は全体的に不透明なため、現状と変わらないと予想している。
□	美容室 (店員)	・今の状況をみると、新型コロナウイルスの影響に関係なく、客は動いている。
□	その他サービス [学習 塾] (スタッフ)	・客は、以前と比べて落ち着いてきたように感じる。ただし、新型コロナウイルスオミクロン株の影響が、家計にどの程度出るのは不透明である。
□	住宅販売会社 (経営者)	・当面は駆け込み需要で維持できるものの、半年も持たない。
□	住宅販売会社 (経営者)	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着くまでは、現状維持が続くと予想している。
□	その他住宅投資の動向を 把握できる者 [不動産仲 介] (経営者)	・金融政策に変化はなく、コロナ禍による業績の二極化傾向にも変化はないなど、経済全体に大きな変化は見受けられない。
□	その他住宅 [展示場] (従業員)	・政府による住宅取得支援策がなければ、新築住宅市場は厳しい状況になりつつある。
▲	一般小売店 [衣服] (経 営者)	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しているため、現状は良くなることはない。3回目のワクチン接種を早急に進めたとしても、まだしばらくは苦しい時期が続く。
▲	一般小売店 [菓子] (営 業担当)	・売上が低迷し、営業活動にも支障が出ている。今後2～3か月は厳しい状況が続くことになれば、先行きが不安である。

▲	百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数のピークがまだ分からない状況で、来客数が戻りきらないことが予測され、中間層を対象にした商材の動向は厳しいと予想される。2月に5～8%の値上げが予定されているラグジュアリー関連も、1月に販売が増えた反動で苦戦が予想される。一方、若年層の来店は厳しいながらも動きが見られ、バレンタインデー商戦は来客数が減っている割に好調に推移している。わざわざ足を運ぶ価値のある仕掛けには、客の反応がみられるなど、決して悪いばかりの状況ではない。
▲	百貨店（売場マネージャー）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況は不透明である一方、まん延防止等重点措置の適用による来客数への影響は、顕著に出てくることが予想される。
▲	百貨店（売場マネージャー）	・今月の状況をみると、60～70歳のシニア世代の客が確実に減少しており、売上が大きく減っている。この状況は、2～3月末まで継続しそうである。
▲	百貨店（販促担当）	・先の予定が立たない状況になり、卒業、入学需要などにも影響が出る。2年ぶりの春の旅行といった明るい気分が一転し、3回目のワクチン接種に関心が集まるなど、生活防衛意識が高まることで、厳しい消費環境となる。政府の方針が曖昧なこともあり、消費者の心理や行動がうまくコントロールできておらず、不安ばかりが目立っている。
▲	スーパー（経営者）	・輸入原材料に頼る多くの加工食品や、生産に重油を使うような野菜や果物の価格が高止まりしている。賃上げが一部の産業や大手企業だけではなく、中小企業や個人事業主にも広がらなければ、財布のひもが固くなる。今後、コスト上昇分の価格転嫁が希望どおりに進まなければ、利益の減少に直結する。
▲	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大で、地方でも旅館業や飲食業に影響が出ているほか、一般客もイベントや集会への参加を自粛するなど、景気の悪化材料が多い。
▲	スーパー（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向になれば、以前と同じように景気は上向くと予想されるが、先行きが不透明であるため、悪化することが予想される。
▲	スーパー（店長）	・ステイホームやリモートワークも定着してきており、衣料品の需要回復には期待できない。
▲	スーパー（店員）	・今月末には、近隣に24時間営業のスーパーがオープンするため、売上が少し落ちる。新型コロナウイルスの感染も拡大しているため、毎日買物をする客も減る。
▲	スーパー（販売促進担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株による影響は落ち着いてくる一方、内食や外食への影響も出てくる。ただし、全体として新型コロナウイルス発生前の状況に戻ることはない。
▲	コンビニ（店長）	・いつコロナ禍が収束するのか、めどが立っていない。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染拡大で良くならない。
▲	コンビニ（店員）	・人流が減っていると率直に感じるため、しばらくはこの傾向が続くと予想される。ただし、ワクチンの接種が進めば、また戻ることが予想される。前回も戻り始めれば、通常 come 客数に戻るのは早かったため、その点は心配がないと感じる。
▲	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、再び売上の増加に歯止めが掛かる。2月前半は来客数が減少する見込みである。
▲	家電量販店（店員）	・燃料費の高騰は、やはり生活費への影響が大きい。光熱費の上昇で家計の圧迫が大きく進めば、買い控えも起きるため、夏のボーナス商戦までは厳しい状況が続く。
▲	家電量販店（人事担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束するイメージが湧かない。感染が流行と小康状態を繰り返しており、当面は新型コロナウイルス発生前に戻ることはないため、新たな販売手法に取り組む必要がある。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が、消費意欲を減退させていると感じる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・新車の受注は増えているが、メーカーから新車が入ってこない。また、新型コロナウイルスオミクロン株の影響で仕事が回らない。
▲	乗用車販売店（経営者）	・もう2年以上続いているコロナ禍による制約で、中小企業の体力は限界にきている。原油高による仕入れコストの上昇や社会保険料の負担増により、企業経営を継続する気力がなくなっている。

▲	住関連専門店（店長）	・輸入に伴う輸送コストなどの高騰に耐えきれず、やむを得ず販売価格を値上げした。その影響で、買い控えが数か月続くことを懸念している。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の推移や、全国的なまん延防止等重点措置の適用による影響が不透明ななか、早期の回復は難しいと予想される。
▲	一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加が続くと、直接的な売上への影響もあるが、人手の確保が厳しくなる。時短要請以外の時間帯でも、営業活動ができない状況となることが想定され、売上は更に減少すると予想している。
▲	都市型ホテル（客室担当）	・Go Toキャンペーンの再開には期待しているが、現状では難しい。人流が増加し、新型コロナウイルスの感染が拡大するサイクルを断ち切らなければ、景気の回復は難しい。
▲	タクシー運転手	・新型コロナウイルスオミクロン株の爆発的な感染拡大に伴う、まん延防止等重点措置の適用で、人流の減少による営業収入の減少が懸念される。
▲	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大による悪影響が出る。
▲	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染収束の時期がみえず、新型コロナウイルスオミクロン株の感染も爆発的に広がっている。この状況については、来年度上半期中での解決を望みたい。
▲	通信会社（企画担当）	・これからまた緊急事態宣言が発出されると、経済活動が止まってしまう不安がある。賃金も余り上昇するとは思えず、売上は厳しくなると予想される。
▲	観光名所（企画担当）	・11～12月は少しずつ来館者が増え始めていたが、新型コロナウイルスの感染第6波で再び来館者が減少し、また先が見えなくなっている。
▲	その他レジャー施設〔イベントホール〕（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大のピークアウトがいつになるかで、人々の行動が変化する。安心材料が提供されれば、活気が出てくる。
▲	住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションの販売は好調に推移しているが、賃貸マンションは一部で入居者の確保が厳しくなっている。今後は、収益物件としてのマンションの販売は厳しくなることが予想される。
▲	住宅販売会社（総務担当）	・まん延防止等重点措置の適用に伴い、客の動きが減少傾向となる。
▲	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・九州エリアの事業所で、新型コロナウイルスの感染者が出たとの速報が入った。現在は1人だけであるが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染力を考えると、今後も社員から感染者が出る可能性があるため、頭が痛い。
▲	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	・不動産価格、特にマンション価格の高騰による影響が、徐々に販売の減速につながる。特に、株価との連動が大きい、高額物件の動きの悪化が懸念される。
×	商店街（代表者）	・しばらくは状況の好転が見込めない。
×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・物価上昇の影響が出てくる。
×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、数か月後には今よりも落ち着いている可能性はあるが、だからといって急に客足が戻るとは思えない。現状を考えると、数か月後に景気が良くなるとは考えられず、現状維持さえも難しいと、不安ばかりがつのる。
×	一般小売店〔花〕（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるなか、外出を控える動きが始まっている。新規感染者数の増加とともに、更にその傾向が強くなるため、来客数の減少が予想される。
×	百貨店（売場主任）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束時期がみえないことが、最大の悪化要因である。急速にピークアウトする気配がないなか、来客数は下げ止まらなると予想される。
×	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大や、まん延防止等重点措置の適用で、人流は減少する傾向にあるため、売上は自然に減っていく。
×	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収まるまでには、数か月は掛かると考えている。今年の春や夏も厳しく、仕入先の廃業や倒産が心配である。
×	衣料品専門店（経営者）	・消費者が小売店で買物をする社会への復帰を目指してほしい。株価を上げたり円高に誘導する対策を進めなければ、中小零細企業は廃業してしまう。

	×	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続くことで、外出が減少し、来店も少なくなる。特に、ショッピングモールのテナントには、間違いなく大打撃となる。
	×	住関連専門店（店員）	・新型コロナウイルスの影響で、良くなる兆しはみられない。
	×	その他小売〔インターネット通販〕（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が多くなり、客は外出を控えている。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・コロナ禍による失業が増え、お金をためる人が増えたように感じる。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、来客数はかなり減少している。予約のキャンセルや日程の変更が相次いでおり、ここしばらく景気は下降気味になる。
	×	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	・大企業ではテレワークが定着しており、自販機の売上にはかなりの打撃となる。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・今後の新型コロナウイルスの感染状況を見守るしかない。感染が収束しなければ、営業面で厳しい状況が続くと予想される。
	×	タクシー運転手	・今月27日～2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用となる。外出の自粛が更に進むことで景気が悪化し、売上は低迷する。
	×	テーマパーク（職員）	・政府が判断を誤り続ける状態では、景気の回復に向けた手段も構築できるとは思えない。株価の下落はそれを見越した動きであり、このようなタイミングで増税の話も出てくるなど、雇用と消費が順調に伸びる政策は期待できない。
	×	遊園地（経営者）	・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数が少なかったため、平常時に近いにぎわいとなったが、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、年明け以降は減速した。まだ感染の拡大が続いていることから、当面は回復が見込めない。
	×	競輪場（職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響や、原油や食品価格などの上昇で、良くなるとは思えない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大しているが、長くは続かないとの見方も出ている。輸入品の輸送費の高騰や、コンテナの不足はあるが、今後は受注が増える見込みであり、輸送費も旧正月明けには次第に落ち着くとの予想もある。それに伴い、売上、利益共に増加が見込まれる。
	○	繊維工業（団体職員）	・新型コロナウイルスの感染第6波の収束を見込み、やや良くなると予想している。
	○	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・一概にはいえないが、英国や米国の例をみると、新型コロナウイルスオミクロン株の感染は周期が短いとの分析もある。期待も込めて、2～3か月後の景気はやや良くなると予想している。
	○	電気機械器具製造業（経営者）	・半導体市場の好調は、間違いなく2年以上は続くため、今年も好況の継続が見込まれる。
	○	電気機械器具製造業（営業担当）	・納期が来年度の製品の受注量が増えている。また、来年度の予算確保用の見積り依頼も増えている。
	○	金融業〔投資運用業〕（代表）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染は、3月には収束するとの見方もあるため、それ以降は一連の騒動は終了する。ただし、今度は貸し込まれた借入金の返済という新たなマイナス材料に、債務者が対応できる体力があるのかが疑問である。コロナ禍の終了後に、倒産件数が一気に増えそうな予感がする。
	○	広告代理店（営業担当）	・広告の申込状況を見ると、新型コロナウイルスオミクロン株の感染が収束すれば、春には回復が進みそうな動きとなっている。
	○	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今年は寒さが厳しくなり、事故がやや増えたため、在庫数が若干増えている。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が周囲でみられる状況では、良くはならない。濃厚接触者が社内でも発生しているほか、操業への影響が大きい取引先や仕入先でも発生している。
	□	化学工業（企画担当）	・食品の原料価格の高騰に加えて、設備投資に必要となる電子機器などの不足で、様々な厳しい状況が慢性化している。

□	プラスチック製品製造業（経営者）	・マイナスの要素もあるが、年度末に向かうことで需要の上積みも期待できる。ただし、収支はプラスマイナスゼロとなる見込みである。
□	金属製品製造業（営業担当）	・部品不足が解消するような前向きな話は、なかなか聞こえてこない。
□	金属製品製造業（開発担当）	・中国の旧正月が終われば、また暇になる。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・この1年半は売上が激減しており、今も傾向は変わらない。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・物価が少しずつ上昇する一方、消費者の収入は増加する見込みがない。
□	電気機械器具製造業（経理担当）	・電子部品や半導体の供給不足は深刻であり、納期を聞いても、2年先と回答されるケースも出始めている。取引先からの注文を断らざるを得ないケースもあり、予定が立たないなかで、数か月先も見通せない状況である。
□	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・年末頃には新型コロナウイルス変異株の感染が急速に落ち着き、収束も近いと考えられたが、年明けからは新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、兵庫県でもまん延防止等重点措置が適用となった。1月19～20日に開催された展示会についても、新型コロナウイルス発生前の半分ほどの来場者数にとどまっている。
□	建設業（経営者）	・問合せ数などをみても、今後は受注量の増加が想定しにくい。また、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加で、飛行機の乗客も減っており、今後は当社の各業界の取引先への悪影響も出てくる。
□	建設業（経営者）	・多くの建設資材の納期が確定しない状況で、資材の不足や価格の高騰で苦慮している。客に現状を理解してもらうために説明しているほか、設備投資の予算や工期を見直してもらえるよう努力している。
□	建設業（経営者）	・飽くまでも新型コロナウイルスの感染収束が条件であるが、春になれば外出自粛の反動もあり、消費マインドが高まると期待している。
□	金融業（営業担当）	・まん延防止等重点措置の解除後は、各企業の体力や人員配置などが問題になると予想される。
□	経営コンサルタント	・まん延防止等重点措置が予定どおり解除されるかどうかは分からないが、すぐに客が戻ると考えている事業者はいない。
□	司法書士	・新型コロナウイルスの感染状況による影響が大きいのが、ワクチン接種の遅れや、検査キットの不足による問題もあり、2～3か月後の景気はかなり厳しくなる。
□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の症状は比較的軽症であるため、経口薬などの効果はある程度期待できそうである。一方、報道によると、新型コロナウイルスオミクロン株が派生型に置き換わりつつあるため、感染第6波は長期化すると予想される。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、海外の展示会に商品を見に行くこともできず、商材の開発が進まない。前に進めず、既存の商品しか売れないため、改善は見込めない。
□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響がどう出るかは不透明であるが、設備投資の予算が削られていると感じる。
▲	食料品製造業（従業員）	・まん延防止等重点措置が適用され、飲食店は営業時間が短縮となり、外出を控える動きも出るため、業務用の売上増加は期待できない。家庭用も、以前のように巣籠り需要は高まらないと予想されるため、売上の増加は期待できない。
▲	繊維工業（総務担当）	・前期と比べて、原料価格の上昇やコロナ禍の影響で、利益率の低下や売上の減少が続いている。
▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・いわゆるウィズコロナによって、経済が動き出すと予想されたが、再び以前と同じ状況に陥った。今後もその繰り返しとなるイメージが強いため、来年度も回復に期待が持てない。
▲	化学工業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染第6波の影響で、従業員や取引先など、身近なところでかなり感染が広がっている。それと同時に濃厚接触者も増えており、出社できる従業員がかなり減少し、通常の業務ができなくなってきた。それに伴い、受注や生産活動にも支障が出ており、このままでは景気は更に悪くなる。

	▲	化学工業（管理担当）	・製品の出荷量は下げ止まりが予想される一方、原材料である化学品の価格高騰はかなり激しい。
	▲	金属製品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、製造業の人材確保に影響が出ることが心配される。
	▲	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が予想以上に増え、閉塞感がより一層増している。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、この先どうなるかは不透明である。
	▲	輸送業（商品管理担当）	・まん延防止等重点措置が適用されたため、酒類の売上が減少する。
	▲	輸送業（営業担当）	・3～4月は学習机が売れるシーズンであるが、納期が5～6月と遅れている。
	▲	金融業（副支店長）	・飲食や航空、旅客、旅行関連への影響は甚大であるため、消費者の活動も消極的となり、景気の後退が予想される。
	▲	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加により、受注量が減っている。
	×	食料品製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急激に拡大し、まだ先が見えない状況のため、売上は悪くなる。
	×	繊維工業（総務担当）	・すぐに持ち直すとは思えない。
	×	輸送業（営業担当）	・個人間の売買による荷物が増え、売上が増えている。通販関連の荷物よりも運賃が高いため、利益も増えている。
	×	通信業（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、経済に大打撃となる。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染収束が見通せない。今後も新規感染者数が増え、飲食店の時短要請が続くため、状況は悪くなる。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で先が見通せず、今後も混とんとした状況が続く。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況にもよるが、季節的に感染が広がりにくくなるほか、直近で求職活動が停滞している分、後ろ倒しで動きが活発化すると予想される。その場合は、2～3か月先に求職活動や求人募集が増える可能性がある。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着かなければ、特需による求人が更に増える。
	□	人材派遣会社（経営者）	・前月頃までの好調な状態を、年度末までは維持できそうであるが、新年度からは見通せなくなっている。通常であれば、今は4月以降の契約更新や新規案件の話が出てくる時期であるが、企業は慎重になっている。
	□	人材派遣会社（役員）	・本来は良くなる局面であるが、各地へのまん延防止等重点措置の適用が相次ぎ、景気に水を差す状況となっている。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・今のところは、新型コロナウイルスの新規感染者数の増加による影響は出ていない。更なる感染拡大による影響は読みきれないが、急激に変化するとも考えにくい。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が落ち着くまで、心理的には行動に制限が掛かるため、消費が伸びない。ただし、3か月もすれば落ち着くかもしれない。
	□	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大が続いているほか、3回目のワクチン接種も遅れているため、今後の感染状況次第で景気はどの方向にも向かう可能性がある。ただし、消費者も重症化リスクの低さを認識しており、人流が極端に減り、消費が冷え込む可能性は低い。感染のピークが近いとの報道から、企業も感染収束後を見据えた採用計画を立てる傾向にあり、求人数が極端に減少する心配もないため、景気が一気に悪化する可能性は低い。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大しており、感染拡大期間の長さによっては、景気がどうなるか分からない。
	□	職業安定所（職員）	・まん延防止等重点措置の適用が再度決定したことにより、宿泊や飲食サービス業への影響が懸念される。また、原材料価格の高騰、半導体不足、運輸コストの上昇といった不安要素が、景気の回復を遅らせる。
□	職業安定所（職員）	・前月は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少したことで、求職者の登録は増えたが、有効求人倍率は1.32倍と、1倍以上の水準で推移しているため、全体としては変わらない。	

□	民間職業紹介機関（職員）	・求人数は増えつつあるものの、労働条件の改善はみられない。そのため、求職者とのマッチングになかなかつながらず状況が続いている。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・短期間では、変化がなさそうである。
□	学校〔大学〕（就職担当）	・企業の求人も止まったままであり、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が止まることを願うのみである。
▲	人材派遣会社（支店長）	・4月には一旦落ち着くことが予想される。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・この1～2週間での新型コロナウイルスの新規感染者数の増加と、それに伴う自宅待機者の増加などにより、人の採用には再びブレーキが掛かりそうである。
▲	アウトソーシング企業（社員）	・人手不足で、業務を委託に切り替えたため、雇止めが行われる。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・コロナ禍の収束が見通せない。関西の地元企業による新聞広告の出稿意欲が、年度末にもかかわらず低いままで、前年比でも70%台にとどまる。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・現在、全国各地でまん延防止等重点措置が出されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数や病床利用率は今後も悪くなる一方となる。緊急事態宣言が出されるかどうかは分からないが、いずれにせよ、この状況は経済活動には悪影響でしかないと感じる。
▲	職業安定所（職員）	・先行きについて、企業からは新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大への懸念や、原油や原材料価格の高騰、物流の停滞に対する懸念が寄せられており、引き続き注意が必要となっている。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大と、それによる景気の減退、株価の低迷、求人需要の量から質への転換などから、もろ手を挙げて喜んでいられる時期は終わったと感じる。
×	—	—